

## お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。  
お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

### 本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。  
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### せんユニット

せんユニットは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。  
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### パッキン

パッキンをせんやふたから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

## ⚠ お手入れ上の注意

●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。  
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。

●本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。  
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。

●シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾などは使用しないでください。  
キズやサビ、破損の原因になります。

●本体やせんユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは  
使用しないでください。  
変形や漏れの原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しないでください。  
サビ、破損の原因になります。

●本体・せんユニットのつけ置き洗いなどはしないでください。

●せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。  
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態で行ってください。

●長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし  
完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

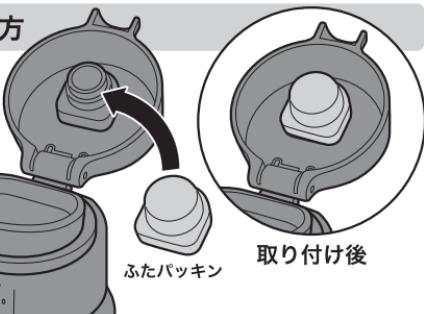
●スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。  
ニオイの付着やサビ等の原因になります。

## パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。  
お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取り外したあとは、  
正しく取り付けてください。

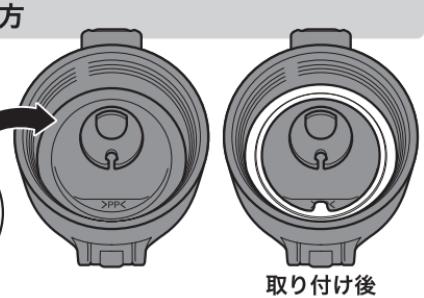
### ふたパッキンの取り付け方

ふたパッキンをふたの部分の  
形状に合わせて取り付けて  
ください。



### せんパッキンの取り付け方

せんパッキンのつまみ部分を  
飲み口の反対側にしてせんに  
はめ込んでください。  
指で押し、浮いて  
いないことを  
確かめてください。



ふたパッキン、せんパッキンは消耗品です。

約1年間を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、  
表面のザラつきや損傷がある場合は交換してください。  
消耗のある場合は、品番をお確かめのうえ、輸入販売元までお問い合わせください。

## 赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、  
ザラザラしたものが付着した場合には…

### サビのような赤い斑点ができた場合

水分に含まれる鉄分などが付着したもので。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。  
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

### ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず、3時間程放置した後に柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

Airst

# 超軽量 ワンタッチ マグボトル

## 取扱説明書

## ARWシリーズ

このたびは、当社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。

また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったら  
ときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

### ご使用の前に

●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、  
せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。

●底面の製造ロットシールは、はがさないでください。

●はじめてご使用になるときは、本体内側・せん  
ユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなど  
でよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。  
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを  
変更することがありますのでご了承ください。

### ●各部のなまえ

#### せんユニット

ふたパッキン

ふた

飲み口

安全ロック

プッシュ  
ボタン

せん  
パッキン

口金

本体

底

## ⚠ ご使用上の注意



- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。  
やけどの原因となります。

注意 ●飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。

### ●熱い飲み物を入れた場合、次の点を必ずお守りください。

- 断熱効果により、熱い飲み物を入れても外側は熱くなりません。注意してご使用ください。
- 傾いた状態、または顔を近づけた状態でふたを開けないでください。  
内圧があがり、飲みものが激しく飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
- 本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。  
急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。

### ●せんユニットを必ず外してから飲みものを入れてください。

- せんユニットを付けたまま熱い飲み物を入れると、飲みものが飛散してやけどの原因になり危険です。

### ●飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。

- 入れすぎるとせんユニットが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。  
また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

### ●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく碎いて入れてください。

- キズや溢れる原因となります。

### ●ふたパッキン、せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。

- 飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。  
ふたパッキン、せんパッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。

### ●せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。

- 飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

### ●せんユニットが確実に閉まっていることを確認してください。

- 閉め方が不十分で、傾けた場合飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

### ●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。

- やけどや製品の変形や変色の原因になります。

### ●電子レンジで加熱しないでください。

- 火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

### ●冷凍庫には入れないでください。

### ●本体の口元に熱いやかんなどをあてないでください。

- 口元の変形・キズ・転倒してやけどなどの原因となり危険です。

### ●飲み終わったら、本体を立て、ふたを確実に閉めてください。

- 安全ロックを確実に閉め、本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

### ●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

### ●製品の構造上、湿度が高いときにふた・せんに水滴がつく場合があります。 ご注意ください。

### ●アルコール類は入れないでください。

### ●次のものは絶対に入れないでください。

#### ■ドライアイス・炭酸飲料

- (内圧があがり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあります)

#### ■牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの

- (成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧があがり、ふた・せんが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあります)

#### ■お茶の葉・果肉

- すぎまとあまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

### ●においの強いものを入れると、本体やパッキンにおいて残る場合がありますが、品質上問題はありません。

- お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

### ●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

- 成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧があがり、ふた・せんが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあります)

### ●お茶などは早めにお飲みください。

- 長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

### ●落したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

- 変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またふた・せんの破損原因になります。

### ●改造・修理・分解は絶対にしないでください。

- 破損、事故の原因となります。

### ●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。

- 万一の漏れを防ぎます。

### ●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

- 万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

### ●持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。

- 持ち運ぶ際は、ふたをきちんと閉め、せんユニット部分を持って運ばないでください。

### ●運転中は危険ですので使用しないでください。

- 車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分だと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。

## ご使用方法

### ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
- 不具合があった場合、使用しないでください。

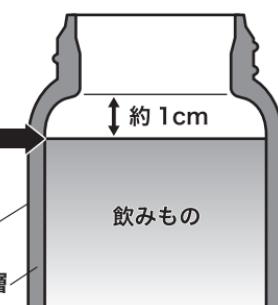
### 1 せんユニットをはずす

せんユニットを矢印の方向へ回してはずす。



### 2 飲みものを入れる

飲みものの量は、右図 ➡ 部までにしてください。入れすぎるとせんユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。  
入れすぎた場合は、減らしてから、せんユニットを閉めてください。

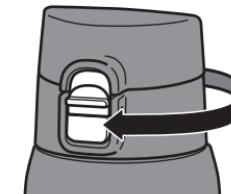


### 3 せんユニットを閉める

せんユニットを矢印の方向へ回して閉める。

\*熱い飲みものを入れた場合、噴き出しがあります。絶対に振るなどしないでください。

\*圧抜きをする場合やせんユニットが開きにくくなった場合は、やけに十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。

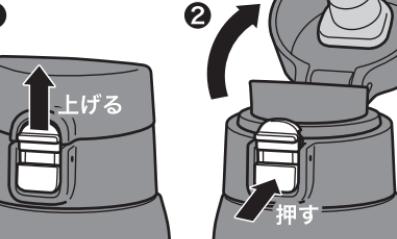


### 4 ふたを開けて飲みものを飲む

①本体を立てた状態で安全ロックを上げる。



②プッシュボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。



### 5 飲み終わったら

①飲み終わったら、本体を立てふたを閉める。



②安全ロックを下げて、ロックする。

